

造船統計速報（平成23年2月分）

平成23年4月8日
 国土交通省総合政策局情報政策本部
 情報安全・調査課交通統計室
 担当：安達、木口
 TEL:03-5253-8111(内線28-743)

1. 概況

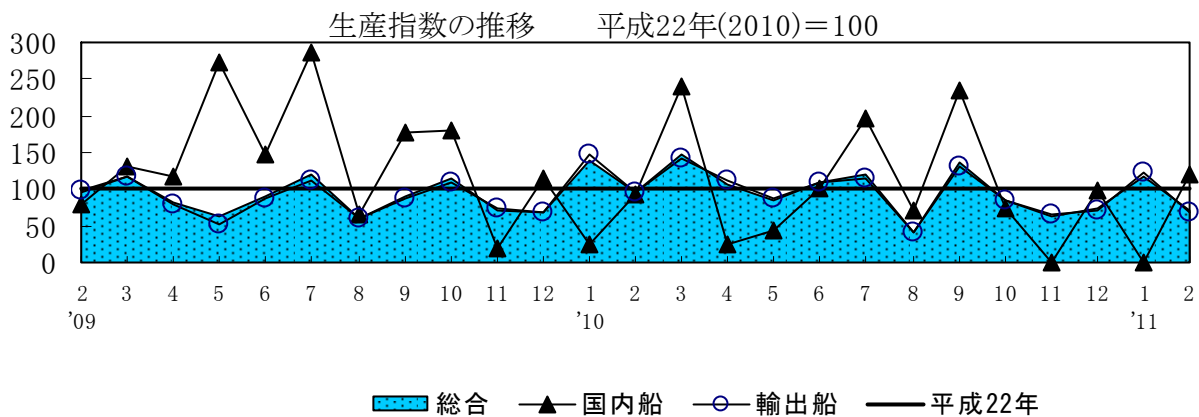
平成23年2月の造船主要52工場の鋼船建造実績は、起工32隻、157万G/T、竣工25隻、119万G/T、竣工船価1,213億円、生産指数70.3であり、生産指数の前年同月比は、26.6%減であった。

このうち、国内の竣工実績は、貨物船3隻、であり、4万G/T、生産指数120.5であった。

また、輸出船の竣工実績は、パナマ・シンガポール等向けの一般貨物船2隻、リベリア向けの鉱石専用船1隻、パナマ・リベリア等向けのばら積み船8隻、パナマ・マーシャル諸島向けのコンテナ船2隻、パナマ・シンガポール向けの鉱石兼ばら積み船6隻、パナマ・リベリア向けの一般油送船2隻、パナマ向けの化学薬品船1隻で、合計22隻、115万G/T、生産指数67.8であった。

鋼船修繕実績は、105隻、工事金額29億円であった。

2. 生産指数の推移 平成22年(2010)=100



注1 本速報は、造船の生産等実績の早期把握に資するため、基幹統計「造船造機統計」の造船調査対象工場のうち主要工場の主要項目の生産等実績について先にとりまとめ速報化したものである。確報値は追って公表される「造船統計月報」を参照されたい。

注2 生産指数は、当該月の竣工船価（合計）を、基準時（平成22年）の竣工船価（合計）の月平均値で除して求めた指数である。また、累計値の生産指数は、当該月までの竣工船価（合計）を、基準時（平成22年）の竣工船価（合計）の月平均値に当該月数を乗じて求めた数字で除して求めた指数である。なお、本速報の生産指数は、主要工場分のみ速報値である。

3. 鋼船建造実績

(単位：隻、G/T、千円、 指数：平成22年平均=100)

用途別		起工		竣工		生産指数(注2)		
		隻数	G/T	隻数	G/T	船価	指数	前年同月比
合計		32	1,570,045	25	1,189,981	121,306,423	70.3	73.4
国内船	小計	2	62,600	3	40,210	9,882,000	120.5	—
	貨物船	1	61,000	3	40,210	9,882,000	—	—
	貨客船	0	0	0	0	0	—	—
	客船	0	0	0	0	0	—	—
	自動車航送船	0	0	0	0	0	—	—
	油送船	0	0	0	0	0	—	—
	漁船	0	0	0	0	0	—	—
	その他	1	1,600	0	0	0	—	—
輸出船	小計	30	1,507,445	22	1,149,771	111,424,423	67.8	—
	貨物船	24	1,164,895	19	932,712	91,912,023	—	—
	油送船	6	342,550	3	217,059	19,512,400	—	—
	その他	0	0	0	0	0	—	—

4. 鋼船修繕実績

	隻数	工事金額(千円)
合計	96(9)	2,398,299(531,424)
国内船	74(9)	1,859,160(531,424)
外国船	22(0)	539,139(0)

5. 鋼船建造実績(平成23年1月~2月の累計)

(単位：隻、G/T、千円、 指数：平成22年平均=100)

用途別		起工		竣工		生産指数(注2)		
		隻数	G/T	隻数	G/T	船価	指数	前年同期比
合計		52	2,627,945	69	3,204,841	324,876,402	94.2	79.8
国内船	小計	2	62,600	3	40,210	9,882,000	60.3	—
	貨物船	1	61,000	3	40,210	9,882,000	—	—
	貨客船	0	0	0	0	0	—	—
	客船	0	0	0	0	0	—	—
	自動車航送船	0	0	0	0	0	—	—
	油送船	0	0	0	0	0	—	—
	漁船	0	0	0	0	0	—	—
	その他	1	1,600	0	0	0	—	—
輸出船	小計	50	2,565,345	66	3,164,631	314,994,402	95.9	—
	貨物船	37	1,858,345	55	2,545,333	246,496,539	—	—
	油送船	13	707,000	11	619,298	68,497,863	—	—
	その他	0	0	0	0	0	—	—

注3 結果表中の「・・」については、秘密保護上公表しないものである。

注4 鋼船修繕実績における()内は、排水トン表示による船舶で、外数である。